

2018年秋季年末闘争・組織拡大 CTG・建設労働本部闘争速報

2018年11月1日/第11号
〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL 011-711-7377
FAX 011-711-7388
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

函館運送支部が燃料手当妥結

函館・本採用・世帯主で 130,000 円（前年比 +7,000 円）
60 歳以上の再雇用者にも 3 万円

函館運送支部は 10 月 23 日の団体交渉で、2018 年の燃料手当について回答を受け 24 日に妥結しました。会社からは回答にあたって「今年度、先月の収支で前年度の収入が超えていない状況ではあるが、燃料手当は例年、収支に関係なく出すと言っている以上、回答は考えてきた」とし、「今年は昨年より灯油価格が上昇して 100 円近くになっている。値下がりの状況もないのに、本採用で 9 万円 + 3 万円 + さらに 1 万円にした」と回答しました。また、組合側から 60 歳以上の再雇用者にも支給を求めたのに対し「3 万円」の回答が示されました。函館・本採用・世帯主については 130,000 円（前年比 +7,000 円）となり、準世帯主が 86,670 円 (+4,670 円)、独身 43,340 円 (+2,340 円)、札幌・本採用・世帯主 144,460 円 (+7,780 円) などです。

燃料手当・寒冷地手当と年末一時金闘争の報告を

各職場組織（支部・分会）の燃料手当・寒冷地手当闘争と年末一時金闘争の報告（要求内容・要求提出日／回答内容・回答日／妥結内容・妥結日）をお願いします。

なくせじん肺キャラバン・札幌市要請

今年の「なくせじん肺北海道キャラバン」の締めくくりとして、10 月 30 日に札幌市への要請をおこないました。要請では、アスベスト被害救済について「札幌市は中皮腫が死因で亡くなった人の数をつかんでいるはずだ」と質し、平成 28 年は 40 人、平成 27 年は 26 人という数が明らかにされました。全国の統計では中皮腫の死者（2016 年度 1,550 人）のうち約 3 分の 1（同 540 人）しか労災認定されていないことを示して、札幌市として個別に労災保険制度などを知らせてほしいと求めたのに対して「検討する」と答えました。このほか、アスベスト使用建物のハザードマップ作成、解体・改築などの際の事前調査や除去工事の補助金制度などについても説明を受けました。

J R 北海道「安全に関する労使合同会議」

J R 北海道の「安全に関する労使合同会議」が 10 月 25 日に開催されました。20 回目となる今回の会議の議題は、高架橋からのコンクリート片落下についてで、再発防止策と実施状況の説明を受けました。会社からの対策を聞き終えて、北海道鉄道本部の竹田委員長は「国鉄から引き継いだ構造物は経年劣化が続いている。対策に必要な費用が毎年重くのし掛かり、全国一社であった国鉄を解体したことで利益のプール運用もできず、J R 北海道という財政基盤が確立できない会社を作った国の責任に、改めて怒りを覚えました。北海道で暮らす私たちには欠くことができない鉄道を維持・管理するには、国が先頭に立ち鉄道をしっかりと守っていく姿勢が必要です。11 月 8 日に行われる国土交通省交渉では、31 年前の J R 発足にむけて政府が北海道民に示した約束事を思い出し、交通権を奪うなど強く訴えてきたいと考えています」と話しています。